



2026年4月13日

各 位

会 社 名 株式会社歌舞伎座
代表者名 代表取締役社長 安孫子 正
(コード番号：9661 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 経理部長 岡谷 直人
(TEL. 03-3541-5572)

2026年2月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年4月14日に公表しました2026年2月期の通期連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期の通期連結業績予想と実績との差異（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,440	302	283	217	17.96
実 績 値 (B)	3,632	378	380	284	23.48
増 減 額 (B - A)	192	76	97	67	
増 減 率 (%)	5.6	25.2	34.3	30.9	
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	3,106	218	246	274	22.65

2. 差異が生じた理由

開示しているセグメントごとの業績の状況は次の通りです。

食堂・飲食事業は、5月、6月の襲名披露公演を記念した「襲名記念御膳」、「襲名弁当」を多くのお客様にご利用いただいた他、猛暑の影響もあり劇場内のドリンクコーナーや喫茶室「檜」が売上を伸ばし、利益が予想を大幅に上回りました。

売店事業は、各月の公演演目にちなんだオリジナル商品が好評を博した他、11月開催の「ねこ展」、12月開催の「アンティーク市」等の催しにより歌舞伎座地下の木挽町広場に初めて来場されるお客様も増え、土産品の売上が伸びました。歌舞伎に注目が集まる中、2026年1月の浅草公会堂「新春浅草歌舞伎」においても弁当や舞台写真の販売が好調で、利益が予想を上回りました。

不動産賃貸事業は、テナントの賃料を増額改定した一方で、劇場設備に係る保全作業は計画を逐一見直して必要なものを実施した結果、利益は概ね予想通りとなりました。

以上